

訓練塔

高さ30m（地上10階・地下1階）の訓練塔は、中高層建物火災を想定した訓練のほか、各階を店舗・ホテル・マンション等の異種構造とし、間取りやバルコニーなどに変化をつけることで実地に近い形のさまざまな進入・放水・救助訓練をすることができます。



他にも！

訓練時に破壊可能な窓が設置されていたり、電線など架線障害の訓練もできちゃいます！

最大35mの高さまで、はしごが伸ばせるよ！

高ーい！



10階は、はしご専用放水施設！放水飛散防止加工がされていて、周囲に水が飛び散りにくい！



スゴイ！

ここから放水ができます！

訓練塔の中も、多様な間取りの訓練室になっています。

なんと！



特集 地域とともに 中央消防署

令和元年10月1日、高知市中心部の消火・救急活動を担う新たな消防署が誕生しました。四国最大級の高さを誇る訓練塔を備えた、中央消防署をご紹介します。

中央消防署 庁舎棟

鉄筋
コンクリート
4階建て！



じゃーん！

通称レスキュー隊と呼ばれる「特別救助隊」1隊（5人）、「特別消防隊」1隊（4人）、救命救急士を含む「高度救急隊」2隊（7人）、目撃者5人の計21人が勤務しています。

車庫棟



救急車も
おるきね♡

ポンプ車1台、タンク車1台、救助工作車1台、はしご車1台、13mブーム付多目的消防ポンプ自動車1台、救急車2台を状況に応じて乗り換えて運用していきます。

どどーん！

